



ペガサスニュース

発行人/馬場武彦
発行/社会医療法人ペガサス
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
http://www.pegasasu.or.jp/
編集/ペガサス広報委員会
編集協力/HIPコーポレーション
発行/令和4年12月28日

Vol.105

南大阪リハビリテーション・ケア学会開催のお知らせ

TOPICS 3 ペガサスグループ 第9回南大阪リハビリテーション・ケア学会開催告知

リハビリテーションに関わる全職種が 共に学び、考え、レベルアップを図ります。

令和5年3月11日(土)に、「第9回 南大阪リハビリテーション・ケア学会」を開催します。本学会は、南大阪地域におけるリハビリテーションに関わる全職種のレベルアップを図り、地域市民の生活向上に寄与することを目的として始まりました。参加者は、リハビリテーションセラピストをはじめ、看護師、介護福祉士、医療福祉相談員、臨床心理士、管理栄養士など多種多様。開催を重ねた現在では、南大阪地域に限らず、九州から東海地方までという広域から500名の向上心溢れる多職種が参加する学会へと成長しています。

コロナ禍で中止せざるを得なかった年もありましたが、現在は、現地会場(馬場記念病院)とオンライン会議システムを組み合わせたハイブリッド形式で開催しています。オンライン形式を取り入れたことで、さらに広域からの参加者が増えるという嬉しい効果もありました。

第9回を迎える今回も、リハビリテーションに関わる多職種が、共に学び、考え、レベルアップへとつながる学会になることを期待しています。

第9回 南大阪リハビリテーション・ケア学会

- 日程/2023年3月11日(土)
- 会場/社会医療法人ペガサス 馬場記念病院
ハイブリッド形式(現地会場+オンライン)
- 特別講演/
「2040年を見据えたリハビリテーションへの期待」
真鍋 馨氏 厚生労働省 保健局 医療課長
「リハビリ看護について」
猪川まゆみ氏 医療法人社団珪山会
鶴飼リハビリテーション病院 看護部長

一般演題募集中

多職種からの
演題を募集しています。
締切/
2022年12月25日(日)

開催スケ
ジュール
など
詳しくはこちら



〈お問い合わせ先〉
大会事務局 pegasus.rehab.care@gmail.com
社会医療法人ペガサス 法人本部
電話:072-263-0630 FAX:072-263-0650
※メール本文には、発信者名・所属施設・電話番号を必ず記載してください。



介護支援専門員・相談援助職・介護従事者向け ペガサス リモート セミナー 参加費無料

「馬場記念病院における脳卒中患者へのピアサポート取り組みについて」 ～MSWと脳卒中体験者からの実践報告～

- 講師:馬場記念病院 医療ソーシャルワーカー 丸山 秀幸
脳卒中ピアサポーター 高野 直也
- 開催日:2023年2月16日(木) 16時～17時
- 申込期限:2023年2月14日

※内容、開催日等は変更になる可能性があります。

お問い合わせ/
ペガサスケアプランセンター石津北
072-245-9615(八尾まで)
t-yao-cpc@pegasus.or.jp
お申し込みはQRコードから▶



ペガサス健診センターの ご案内

ペガサス健診センターは、最新鋭の医療機器を使用し、適切な診断を提供しています。一般健診・企業健診、人間ドックなど、多彩なメニューからお選びいただけます。お問い合わせ/072-265-6006



ペガサスグループ 株式会社ユニコ

取り扱う紙おむつは
150種類以上。
大幅な値下げも
実施中です。



●お問い合わせ
TEL:0120-062-505

私たちと一緒に働きましょう。

随時受付
しています

介護職員募集中! 正職員採用

いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学などへご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

障がいをお持ちの方、一緒に働きませんか

※障がい者手帳をお持ちの方。正職員への雇用変更もあり
業務は、A)書類の印刷、製本 B)洗濯 C)清掃
D)データ入力 E)資料作成等。

お問い合わせ/馬場記念病院 人事課 TEL:072-265-9089



社会医療法人ペガサス公式 Facebook ページ
https://www.facebook.com/s.m.c.pegasus

ペガサスマンモサوندهー

開催予定

【開催日】(予定)

1/15(日)

2/5(日)

【開催時間】

9時～16時

【お問い合わせ】

TEL:072-265-6006
(ペガサス健診センター)

ペガサスから地域のみなさまへ

馬場記念病院が、本年度も日本脳卒中学会より 〈一次脳卒中センター・コア施設〉として 認定されました。

○脳卒中の診療における地域格差と対策

脳卒中は、国民の死亡原因の第4位、65歳以上の寝たきり原因の第1位という疾患です。中でも脳卒中の3分の2を占める脳梗塞は、約60%の方が死亡または重篤な障害を残すという大変恐ろしい疾患です。治療については「専門性」と「時間との闘い」を両立させることが求められます。これまでも全国各地の医療機



関・医療従事者が懸命に努力し対応してきましたが、医療の高度化に伴い、対応できる医療レベルに地域格差が生まれました。日本脳卒中学会ではこのことを重く受け止め、どこに暮らしていても同じよ

○一次脳卒中センター認定の現状

日本脳卒中学会が、人材や機能、施設面に一定の認定基準を設けて、それをクリアした施設を一次脳卒中センターとして認定しています。具体的には急性脳卒中が疑われる患者さまを24時間365日受け入れ、発症から4.5時間以内の脳梗塞に対しては静注血栓溶解(t-PA)療法が可能な診療体制が求められます。その認定をめざし各病院が努力を重ねることで標準的な脳卒

関・医療従事者が懸命に努力し対応してきましたが、医療の高度化に伴い、対応できる医療レベルに地域格差が生まれました。日本脳卒中学会ではこのことを重く受け止め、どこに暮らしていても同じよ

うな診療を受けられる「均てん化」をめざし2017年に取り組みをはじめました。それが一次脳卒中センター(PSC:Primary Stroke Center)の制度づくりです。

【一次脳卒中センター(PSC)の認定要件】

- 24時間365日診療、静注血栓溶解療法を開始できる
- 頭部CT、MRI検査などが施行可能
- 脳卒中ユニットを有する
- 脳卒中診療に従事する医師が24H/7D体制で勤務している
- 脳卒中専門医が1名以上、常動している
- 脳外科的処置が必要な場合、迅速に対応可能
- 機械的血栓回収療法が施行できることが望ましい
- 機械的血栓回収療法が施行できない場合、近隣のPSCへ搬送できる手順書を有す
- 定期的な臨床指標取得による脳卒中医療の質をコントロールする

さらに、一次脳卒中センターの認定施設の中で、下記の条件を満たす施設が一次脳卒中センター・コア施設として学会から委嘱されています。

- 急性期脳主幹動脈閉塞に対してカテーテルを用いた機械的血栓回収療法ができる資格を持つ医師が3名以上常動している。
- 脳卒中相談窓口を開設している。



サポートできることが大きな特徴です。これからも一次脳卒中センター・コア施設としての機能を維持・向上させるために人材育成、環境整備に努め、地域医療を支えていきます。

